

# 道写協

## 北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内  
 011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)  
<http://www.dosyakyu.org/>

第134号

### 支部長会議 (総念) 報告

5月14日(日)北海道新聞社会議室で、平成29年度支部長会議(総念)が開催されました。会議には22支部長が参加、本郷正利会長からこれまでの総括が話されました。

会長就任時に支部の活性化と道展の充実化を掲げましたがこの2年間は31支部と現状維持を保ちつつ、会員数は横這い状態で大きな改善を図る事はできませんでした。支部の活性化を目標に4年継続した「支部例会フォトコンテスト」は、定の成果を得て終了することになりました。永年の懸案事項でした「審査会員懇談会」を開催し、審査会の課題、効率化を計るための貴重な意見を聞く事ができ、今後、役員会などで検討をしてゆきます。最後に会員の高齢化と共に会員数の減少で役員体制の維持が難しく、第65回記念展以後は事業の全体的な見直し、又経費削減の必要性が話されました。引き続き北海道新聞社事業センター事業委員の若林直樹氏から、支部活動に対してのお礼と、写真道展関連の事業、審査会、作品集の出版、表彰式、公募展覧会(札幌)、そして14会場に及ぶ巡回展開催に対して、ねぎらいの言葉と写真を通して北海道のすばらしさを伝えていく道写協であって欲しいと述べられました。



支部長会議

その後、出席支部長及び役員の紹介が行われ、議長に旭川の馬場和美支部長が選出され、議事に入りました。

#### 一、事業報告

##### ①各委員会、会議報告

◎写真協会関係(大平事務局長)  
 役員会・企画委員会各5回開かれました。

2月24日、審査会員懇談会(内容)の開催(内容は133号会報に掲載)

◎写真道展関係(山下実行委員長)  
 年4回の定例実行委員会、第64回写真道展審査会の開催と審査内容が報告されました。審査委員長に山本康雄氏(オホーツク)、学生写真道展審査委員長に辻川和夫氏(帯広)、招聘審査員に石津聰・水本・義氏(札幌)を選考しました。

②第64回写真道展審査報告(山下実行委員長)  
 公募の出品数は5,409点、出品者428名(支部会員174名41%)と7年連続5千点台の応募数が維持されましたが、ここ数年応募減少が目立ちます。入選率は5%で依然として難関です。入賞入選点数270点、実質入選者は181名(支部会員112名62%)、女性47名、初入選33名でした。第35回学生写真道展の出品数1,140点、出品者438名でした。

③事業報告(大平事務局長)  
 第63回写真道展公募展は札幌(入館者2,607名)を皮切りに全道14会場で開催。2016年北海道写真協会支部長会議「第63回写真道展表彰式」(祝賀会)を5月15日に開催、「道写協会報」131〜133号発行。審査員の派遣6支部、年度賞楯の申請は11支部。学生写真道展広報活動は帯広南商業高校の協力のもと、高文連帯広会場で審査会員と支部役員が対応。また第35回学生道展展覧会(札幌・表彰式)は3月19日に開催されました。

④第4回支部例会作品フォトコンテスト(会報132号に結果発表)支部長会議上で表彰が行われました。

#### 二、決算・会計監査報告(瀧野 阿部会務委員)

収入は年会費が予算額に比べ、約11万円の減収でした。その要因は一般会員の退会が予想を上回ったと考えます。支出での事業費の突出は、会員と会友のバッチ発注で15万円支出したものです。会計監査報告は川原監査委員から、適正かつ正確に処理されている旨の報告がありました。



授与 本郷正利会長  
 大賞受賞の皆さん  
 山形典夫さん(中央)  
 中川昌子さん(左側)  
 花岡勝美さん(右側)

#### 三、事業計画(大平事務局長)

第64回写真道展作品展(札幌)は道新ぎやらり・DOBBOXで開催中。以後14会場を巡回。「平成29年度写真道展審査会・会友展」5月18日〜23日道新ぎやらり、「2017年北海道写真協会支部長会議」「第64回写真道展表彰式」(祝賀会)を5月14日に開催。道写協会報の発行(134〜136号)審査会員支部派遣、支部年度賞授与は継続実施。第65回写真道展・第36回学生写真道展の応募受付は平成30年2月1日〜10日、審査は同年3月3日〜4日の予定です。

#### 第65回記念写真道展事業について

第65回を記念して左記の事業を予定しています。  
 ・審査委員長に写真家、米美知子氏を招聘  
 ・北海道写真協会記念表彰  
 ・歴代大臣賞作品(第1回〜第64回)作品集掲載  
 ・四、会計予算(瀧野 阿部会務委員)

①収入は、道写協会員数を維持しつつ、新入会員数34名を想定し、前年度繰越金が約18万円の減額で、厳しい予算額となっています。  
 支出項目で今年度から操出金として25万円(内訳)写真道展の人員費を計上しました。  
 ②写真道展中間報告(奈良実行委員)  
 収入及び支出は順調に処理されています。

#### ●主な質疑応答

Q1 道展関係の決算報告書(写真道展、作品集は、9月に支部に送られていますが、年度後でも構わないので支部長会議上での報告はできないのでしょうか。又、道展の中間報告の必要はないと思います。

A1 道展関係の決算が8月と道写協とは異なっており、決算報告は発送を以て承認して頂きましたが、要望の通り来年度からは、支部長会議で報告したいと思えます。また中間報告は行わない事とします。

Q2 巡回展会場の予約は、1年前に済ませましたが、今年2月に突然同月に他支部から開催希望があり、当事者同士で話し合っただけでの連絡が入り、当惑するも変更を余儀なくされました。今後、この様な事の無いよう調整をお願いしたい。

Q3A2 可能な限り日程を早い時期に調整していきたい。  
 巡回展開催の経費は、会場費と輸送費の負担が大きく、支部主催は限界にきている。援助の増額を望む。  
 A3 援助の増額は現状では難しいが、輸送会社の統制など経費削減を検討していきたい。

#### 五、北海道写真協会規約の一部改正

道写協規約付則第4項の写真道展会友及び写真道展審査会員の「申請期間は4月1日から同月20日までとする。」を「道写協に申請し、役員会において決定する。」に改正しました。

#### 六、写真道展会友の承認

◎会友承認(7名) 広田広二(苫見沢、工藤司郎、成田正利、山田清滋(以上室蘭)、山本隆成、今明美(以上札幌)、池田政人(旭川)

#### 七、審査会員・会友の退会

◎審査会員退会: 藤井恵子(阿部昭夫(以上札幌)、和泉拓男(余井江)、嶋田洋子(小樽)  
 ◎会友退会: 山田浩(栗山)、太田照二(小樽)、新庄友行(相澤良二(以上北見)、佐藤豊(帯広)、小泉栄子(岩見沢)

#### 八、北海道写真協会役員改選(大平事務局長)

役員改選が行われ左記の役員が承認されました。  
 顧問: 鶴井亨、山崎隆志、武藤省吾  
 会長: 本郷正利  
 副会長: 森哲、大崎和男(新)  
 会務委員: 瀧野邦保、阿部悦子、山下智、山本隆成、坪川輝子、田本實(新)、小泉和子(新)  
 事務局長: 大平博雄(文化事業社)  
 事務局次長: 福島恵里(文化事業社)  
 事務局: 秋庭彰徳、小坂公人(文化事業社)  
 会計監査: 川原静雄、西澤賢  
 馬場議長退任挨拶で支部長会議は終了しました。総会が滞りなく進行されましたことに感謝申し上げますと共に、出席の支部長様お疲れ様でした。  
 (文責: 森哲)

新審査会員(私の抱負)



吉仲 功 (帯広)

感動の一枚を求めて

被写体はいつも二期一会・心に触れた一瞬の光景をいかに写し撮り映像表現するか、感動の一枚を求めて日々葛藤の連続です。

審査会員に推挙いただき、喜びと同時に責任の重さを痛感しています。良い写真には見る者を感動させる底知れぬ力があります。今後も自己研鑽に務め道写協の発展のために誠心誠意努力する所存です。



小泉和子 (小樽)

心を引き締めて

このたびは審査会員に承認いただき、御礼申し上げます。皆様のお力添えによるものと感謝申し上げます。

心を引き締めてたくさん勉強をしなければと考えています。今後も人との出会いを大切に微力ですが撮り続けたいと思いますどうぞ宜しくお願い致します。

新会友は7名

5月14日写真道展祝賀会がすみれホテルで行われ、席上7名の新会友に認定証が贈られました。



新会友の皆さん一右から順に、今明美(札幌)、池田正人(旭川)、山田清滋(室蘭)、工藤司郎(室蘭)、広田広一(岩見沢)、成田正利(室蘭)、山本隆晟(札幌)

事務局担当者の変更



道新文化事業社 小坂公人 ☎011-241-5161

新しく事務局を担当させて頂きます。来年は節目の「第65回写真道展」とのことで気が引き締まる思いです。

不慣れですがご迷惑をおかけしないように頑張ります。よろしくお願ひします。

随想=私の一枚

(シリーズ-61)

奈井江支部長

田澤 康史

星空からの贈り物



美瑛町の青い池。日没前に到着し撮影場所探し。普通は池の北西角に位置するが、他の人と似たような写真では面白くない。北極星を中心に星を廻したい。場所を求めて雪をかき分け探していると、ライトアップで木立の影が斜面にも縞模様の面白い光景となっているのが見えた。

早速斜面下に三脚を立てるが、木立で北の空が見えない。この池は深くない事を思い出し、長靴で池に入る。積雪と半氷でぬかりながら進むとやがて絶好の場所に辿り着いた。

6時間程の撮影となるので、カメラに外部電源、14〜24mmレンズにヒーター、リモートタイマー、防寒カバーを付け準備完了。星空写真は地上と風景との組合せが決め手となるので場所選びが大切。モニターで慎重に星空を入れる位置、池や木立の影を見定める。ライトアップが終了後に続けて星空撮影に入るので慎重にカメラを固定する。

白や青色の照明で池面に木の影が縞模様に入りとても美しく、影を見ながら撮影開始。程なくライトアップが終了、あたりが暗くなりすぐ4時間程の星空撮影へ。カメラが動かないように注意し、後はタイマーでの自動撮影。

家に戻りRAW現像、画像処理、色調に注意をして希望通りのプリントが出来ました。この一枚を第62回写真道展会友展に「夜空のメヌエット」の題名で応募したところ、念願の準奨励賞を頂くことが出来、私にとっておきの宝物の一枚になりました。

▲ 支部探訪ー岩見沢 支部長 山崎 正義

■昭和46年2月発足

昭和45年4月に写真好きの仲間17名で発足した「写団こぶし」を母体として、翌年の2月に岩見沢支部が誕生しました。

昭和48年には、会員の写真力向上を目的に「写真道展岩見沢巡回展」を開催しました。この甲斐があつて3名の会員の入賞入選を果たすことが出来ました。「巡回展」はそれから毎年開催しています。

平成27年には岩見沢支部創立45周年の記念事業を盛大に実施しました。主な事業は、記念誌の発刊、会員写真展開



創立45周年記念祝賀会  
前列左から5人目 山崎支部長

催、フォトツアー、祝賀会、顕彰事業等です。祝賀会には、本郷正利道写協会長に臨席いただき、温かい激励と示唆に満ちた祝辞を頂きました。

■活気に満ちた支部活動

現在会員は37名、うち女性が13名です。この数年若い会員の入会が多く、支部の活性化に大きく貢献しています。また審査会員1名、会友3名の指導や助言が、支部会員の写真力の向上に大きな力となっています。

■認め合い高め合う月例会

月例会は4月と12月を除く年10回、第2水曜日に開催しています。毎回の参加は20名前後です。提出作品は、一人2作品で互選審査です。5作品以内を選出して、会員1名の持ち点10点を自由に配点し、上位5作品を優秀作品とします。

講評会は、提出された全作品について丁寧に Rowe 行われます。作者の創作意図を最大限尊重して、自由な雰囲気の中で行われます。講評の進行は審査会員を始め写真歴の長い会員が努めます。審査会で一番大切にしていることは、作品を見極める力と撮る力の向上です。

■地域に開かれた岩見沢支部

岩見沢支部では行政、報道、文化団体、高文連等との連携を進めています。特に高文連には毎月支部会員を講師として派遣して、高校生の写真力向上に貢献しています。



「朝霧の中で」 山崎支部長作品  
岩見沢市内の宝水ワイナリー

■高文連や一般参加者と

毎年10月初めの「支部会員写真展」は、市内高文連写真部5校の生徒作品も会員作品約60点と共に展示されます。

フォトツアーは、毎年一般参加者を募集して開催しています。今年10月1日(日)に、登別マリンパークニクスと室蘭工場群の夜景撮影をメインに計画されました。この2つの事業は会員増を中心とした組織強化と写真文化の普及発展を目的としています。

■強い絆

支部会報は年12回発刊され、会員の確かな情報源となり、情報の共有と写真力の向上の手足となっていきます。

毎年4月の懇親会は、30名を超える会員が参加して、年度賞の表彰、写真道展の入賞入選者の祝賀会を中心に、盛大かつ楽しく開催されています。12月には忘年会も開催され、改めて会員相互の理解と絆が深まります。

■果敢に挑戦

今年の第64回写真道展には、多くの会員が挑戦し、大きな成果を挙げました。中川昌子会員の環境大臣賞受賞を始め、延べ20名が入賞入選を果たしました。

ここ数年岩見沢支部会員による大賞・大臣賞の受賞が続く大きな喜びです。また支部会員はその他のコンテストにも挑戦し、昨年は中神由美子会員が名誉ある前田真三賞を受賞しました。

(文責 事務局長 鈴木佳男)

写真集出版 案内

奈良美弥子 写真集

「大地のうたがきこえる」



書店・アマゾン・風景写真出版  
webで販売中です ¥2,800+税

札幌支部会友の奈良美弥子さんの写真集です。今年2月富士フィルムフォトサロン札幌で開催した写真展「土に生きる」で展示された作品を主に掲載しています。  
※奈良連絡先 niyanarow@com.home.ne.jp

### 支部例会成績

#### 札幌 支部長 山本隆晟

▽4月例会21日 中野潤子審査員選考  
 ①難波江②掛村一憲③浦崎毅子④城伊志勝⑤安田敏彦⑥林繁造⑦真征子⑧戸健吾⑨藤田万理子⑩山本隆晟

▽5月例会19日 山下智審査員選考  
 ①木全正樹②林繁造③安田敏彦④藤田万理子⑤三橋和雄⑥掛村一憲⑦高谷憲次郎⑧梅澤勇二⑨坂本千恵子⑩坂本幸夫

▽6月例会16日 長谷川純(特別講師選考)  
 ①山形典夫②藤田万理子③小賀野京子④澤田一夫⑤掛村一憲⑥安田敏彦⑦林繁造⑧城伊志勝⑨梅澤勇二⑩坂本千恵子

▽7月例会21日 武藤省吾審査員選考  
 ①安田敏彦②坂本千恵子③城伊志勝④掛村一憲⑤藤田万理子⑥高谷憲次郎⑦澤田一夫⑧難波江⑨梅澤勇二⑩浦崎毅子

▽5月例会11日 片村洋市審査員選考  
 ①浅海信一「丹頂に祝福されて」  
 ②長尾芳文  
 ③松坂正彦  
 ④北構善二郎  
 ⑤林田定昭  
 ⑥橋本憲一  
 ⑦7月例会(13日 佐藤武治 審査員選考)  
 ①橋本憲一  
 ②高橋米子  
 ③水谷博之



5月例会 1位「丹頂に祝福されて」カラー 浅海信一

#### 栗山 支部長 黒田幸則

▽6月例会19日 山岸幸雄審査員選考  
 ①齋藤優子②敦賀千恵子③黒田幸則③中島武士(入選)敦賀千恵子 齋藤優子 黒田幸則 志田静治

#### 余市 支部長 一戸弘利

▽3月例会25日 審査互選  
 ①③⑤石岡誠三 ②⑥青木延弘 ④⑤一戸弘利 ④⑥谷橋誠子 ④⑧塩野謙造 ⑦⑧金子勝彦



5月例会 1位「春の使者」カラー 塩野謙造

▽7月例会22日 審査互選  
 ①⑤⑥⑧谷橋準一 ②⑦塩野謙造③谷橋誠子④一戸弘利④青木延弘④⑤石岡誠三  
 △平成28年度賞 1位石岡誠三 2位谷橋誠子 3位塩野謙造 4位谷橋準一 5位一戸弘利 6位金子勝彦 7位青木延弘

#### 函館 支部長 松山浩司

▽1月例会25日 吉江和幸審査員選考  
 ①③保科俊二②佐藤真奈美③小池貞子  
 △3月例会22日 吉江・石島審査員選考  
 ②小池貞子・保科俊一  
 △5月例会24日 吉江・石島審査員選考  
 ①渡部啓②小池貞子・松山浩司③荒木憲幸

#### 岩見沢 支部長 山崎正義

▽5月例会(審査互選)  
 ①中神由美子②中川昌子③鈴木佳夫④輪島礼子友広茂夫  
 △6月例会(14日 審査互選)  
 ①中川昌子②鈴木佳夫③伊藤博章④楨野紘・高橋正子  
 △7月例会(12日 審査互選)  
 ①伊藤博章②⑤中川昌子②松本久子④中神由美子

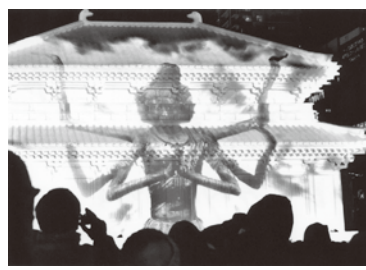
#### 二笠 支部長 伊藤修身

▽5月例会(26日 審査互選)

#### 小樽 支部長 川原静雄

①③古平文男②③高橋英昭⑤伊藤修身  
 △6月例会(30日 審査互選)  
 ①金武紀雄②伊藤修身③⑤古平文男④⑤澤田住子

▽4月例会(16日 審査互選)  
 ①②川上正己②④加藤美佳  
 △5月例会(21日 審査互選)  
 ①川上正己②松葉師正③④⑤加藤美佳⑤澤岡政江  
 △6月例会(11日 審査互選)  
 ①③松葉師正②高山良太③川上正己  
 △7月例会(2日 審査互選)  
 ①崎出恒夫②加藤美佳②川上正己③畑忠幸



5月例会 1位「ファンタスティック」カラー 根本辰男

#### 室蘭 支部長 佐々木昇

▽7月例会(25日 増田輝敏審査員選考)  
 ①白石 純②嵯峨秋雄③根本辰男④一條周一⑤松居秀昭

▽3月例会(24日 審査互選)  
 ①田村謙次②吉井良平②山田清滋③長澤剛・成田正利・鳥海政史(入選)藤司郎 栃元幸一 今井富夫 峰岸弘法  
 △5月例会(26日 中西勉審査員選考)  
 ①③長澤剛②③鳥海政史②大坪恵子③玉木英雄(入選)森美津雄 田村謙次 栃元幸一 太田秀樹 山田しげき 尾形和雄  
 △7月例会(27日 山下智審査員選考)  
 ①今井富夫②太田秀樹・大坪恵子③鳥海政史 田村謙次(入選)尾形和雄 成田正利 玉木英雄 栃元幸一 森美津雄  
 △28年度年度賞①田村謙次②吉井良平③成田正利④鳥海政史⑤藤司郎 太田秀樹  
 △28年度特別賞①大坪恵子②吉井良平③鳥海政史

#### 旭川 支部長 馬場和美

▽4月例会(13日 福田・田本審査員選考)  
 (特選)①吉田祥子②④細川貞子③小山満⑤宮野和子(入選)白鳥敏昭 森田正義 山本義則 佐藤繁雅 白田忠雄

▽5月例会11日 志賀芳彦審査員選考  
 (特選)①白鳥敏昭②小山満③⑤佐藤繁雅④森田正義(入選)浦島寛 山本義則 吉田祥子 白田忠雄 細川貞子 吉田清治郎  
 △6月例会(8日 志賀芳彦審査員選考)  
 (特選)①②④森田正義③吉田清治郎⑤細川貞子(入選)山本義則 小山満 佐藤繁雅 白鳥敏昭 吉田祥子  
 △7月例会(13日 志賀芳彦審査員選考)  
 (特選)①白鳥敏昭②山本義則③森田正義④浦島寛⑤吉田祥子(入選)小山満 佐藤繁雅 白田忠雄 宮野和子 吉田清治郎 細川貞子

#### 恵庭 支部長 西澤 實

▽5月例会(8日 審査互選)  
 ①坂田一紀②加藤憲秋③田中康夫・村井正人・吉村登美子④西澤實・山下支朗⑤五東建夫⑥佐野ミヨ・吉村剛  
 △6月例会(12日 審査互選)  
 ①吉村登美子②田中康夫③山下支朗④西澤實・佐野ミヨ・中岡正美⑦菅原恵子⑧吉村 剛・服部健治・五東建夫



7月例会 1位「あっ!雨!」3枚組 村井正人

▽7月例会(10日加賀谷重雄 審査員選考)  
 ①村井正人「あっ!雨!」  
 ②加藤憲秋  
 ③吉村登美子  
 ④中岡正美  
 ⑤坂田一紀  
 ⑥山下支朗  
 ⑦田中康夫

編集後記 2017年度支部長会議が開かれ、各支部長からは会員の高齢化に伴い支部活動の難しさを語られる中で、写真を通して地域との交流を深めている支部の報告がありました。支部それぞれ独自の活動が、写真協会の礎と言えます。(森)